

【腎・尿路上皮・膀胱・精巣・前立腺・陰茎がんレジメン】						
	レジメン名	コメント	催吐リスク	投与期間	コース期間	抗がん剤
1	陰茎-泌015；FP(5FU800+CDDP80)療法		高度催吐性リスク	4	28	シスプラチン点滴静注:80mg/㎡ Day1 フルオロウラシル注:800mg/㎡ Day1 Day2 Day3 Day4
2	陰茎-泌016;TIP療法		高度催吐性リスク	4	21	パクリタセル注:175mg/㎡ Day1 イホマイド注 :1200mg/㎡ Day2 Day3 Day4 シスプラチン点滴静注:25mg/㎡ Day2 Day3 Day4
3	腎-泌004;ﾄｰﾘｾﾙﾐｽ（ﾄｰﾘｾﾙ）療法		最小度催吐性リスク	1	7	トーリセル点滴静注液:25mg Day1
4	腎-泌012;ニボルマブ療法		最小度催吐性リスク	1	14	オプジーボ® 点滴静注:240mg Day1
5	精巣-泌007;BEP療法	※BLMは最小度催吐性リスク。 ★FN High Risk	高度催吐性リスク	16	21	シスプラチン点滴静注:20mg/㎡ Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 エトポシド 点滴静注液 :100mg/㎡ Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 ブレオ注射用:30mg Day2 Day9 Day16
6	精巣-泌008;VIP療法	★FN High Risk	高度催吐性リスク	5	21	エトポシド 点滴静注液:75mg/㎡ Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 シスプラチン点滴静注:20mg/㎡ Day1 Day2 Day3 Day4 Day5 イホマイド注 1 g /V:1200mg/㎡ Day1 Day2 Day3 Day4 Day5
7	精巣-泌009;CPT-11(200mg/㎡)+NDP療法		中等度催吐性リスク	1	28	アクリン静注用:100mg/㎡ Day1 イリノテカン点滴静注液:200mg/㎡ Day1
8	精巣-泌010;CPT-11(300mg/㎡)+NDP療法	★初回、Grade3以上の有害事象を認めなかった場合に使用を考慮。	中等度催吐性リスク	1	28	アクリン静注用:100mg/㎡ Day1 イリノテカン点滴静注液:300mg/㎡ Day1
9	前立-泌001;DTX(60mg/㎡)療法		軽度催吐性リスク	1	21	ドセタキセル点滴静注液:60mg/㎡ Day1 ブレドニン錠10mg ※連日投与
10	前立-泌005;CBZ(20mg/㎡)+PSL療法		軽度催吐性リスク	1	28	ジェファ® 対点滴静注:20mg/㎡ Day1 ブレドニン錠10mg ※連日投与 ジーラスタ皮下注3.6mg Day3
11	前立-泌011;CBDCA（AUC5）+PTX+EP療法		中等度催吐性リスク	1	28	カルボプラチン点滴静注液:AUC= 5 Day1 パクリタセル注:175mg/㎡ Day1 エストラサイトカプセル156.7mg 4 Cap 2 ×朝夕食後 ※連日投与
12	尿路上皮-泌013;GN療法	中等度催吐性リスク(アロキン使用) ★対象疾患；腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、腎盂扁平上皮癌	中等度催吐性リスク	8	21	アクリン静注用:80mg/㎡ Day1 ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/㎡ Day1 Day8
13	尿路上皮-泌014;ぺムプロリズマブ療法		最小度催吐性リスク	1	21	キイトルーダ® 点滴静注:200mg Day1
14	膀胱-泌002;splitGC(GEM + CDDP)療法_		高度催吐性リスク	15	28	ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/㎡ Day1 Day8 Day15 シスプラチン点滴静注:35mg/㎡ Day2 Day3
15	膀胱-泌003;GP(GEM + PTX)療法_		軽度催吐性リスク	8	21	ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/㎡ Day1 Day8 パクリタセル注:175mg/㎡ Day1
16	膀胱-泌006；GCarbo(GEM + CBDCA(AUC4))療法_	※腎機能障害のある尿路上皮癌	中等度催吐性リスク	8	21	ゲムシタビン点滴静注液:1000mg/㎡ Day1 Day8 カルボプラチン点滴静注液:AUC=4 Day1
17	前立-泌017;CBZ(25mg/㎡)+PSL療法		軽度催吐性リスク	1	21	ジェファ® 対点滴静注:25mg/㎡ Day1 ブレドニン錠10mg ※連日投与 ジーラスタ皮下注3.6mg Day3
18	尿路上皮-泌018;ぺムプロリズマブ(6週間間隔)療法		最小度催吐性リスク	1	42	キイトルーダ® 点滴静注:400mg Day1
19	腎-泌019;ニボルマブ＋イビリムマブ療法	※最大4コースまで。以降ニボルマブ単剤維持療法継続。	最小度催吐性リスク	1	21	オプジーボ® 点滴静注:240mg Day1 ヤーボイ点滴静注液:1mg/kg Day1

20	前立(小細胞)-泌020;CBDCA(AUC5)+VP-16療法		中等度催吐性リスク	3	28	イトボシド点滴静注:80mg/㎡ Day1 Day2 Day3 カルボプラチン点滴静注:AUC=5 Day1
21	膀胱-泌021;THP膀胱内注入療法		最小度催吐性リスク	1	7	ピノルビン注射用:30mg Day1
22	膀胱(小細胞)-泌022;CBDCA(AUC5)+VP-16療法		中等度催吐性リスク	3	21	イトボシド点滴静注:80mg/㎡ Day1 Day2 Day3 カルボプラチン点滴静注:AUC=5 Day1
23	腎-泌023;ペムブロリズマブ+アキシチニブ療法		最小度催吐性リスク	1	21	キイトルダ点滴静注:200mg Day1 インライタ錠 1日2回朝夕食後(連日内服)
24	前立(小細胞)-泌024;AMR療法	※注射でDEX3日間行くので、 経口DEXは省略。	中等度催吐性リスク	3	28	カルセド注射:40mg/㎡ Day1 Day2 Day3
25	尿路上皮-泌025;エンホルツマブ/ペドチン療法_		軽度催吐性リスク	15	28	パドセブ点滴静注:1.25mg/kg Day1 Day8 Day15
26	尿路上皮-泌026;アベルマブ療法	※infusion reaction対策(レス タミンコーワ10mg5T、アセト アミノフェン600mg内服あ り)	最小度催吐性リスク	1	14	バベンチオ点滴静注:10mg/kg Day1